

長寿世界一を復活させよう チャ〜がんじゅー 沖縄!



vol.2 歩きやすい歩道でウォーキング&ジョギング ~ 健康長寿沖縄復活! ~

1 沖縄県民は肥満&運動不足?!

沖縄県は、20代~60代の働き盛り世代に肥満の方が多く、厚生労働省の肥満度ランキングでは全国トップです!! これには様々な原因がありますが、運動不足(歩かない)が原因の一つとされています。



2 がんじゅーどー事業とは?

県民の健康づくりを推進するために、ウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間の整備を実施しています。具体的には歩道のアスファルト舗装を走りやすいゴムチップ舗装にしています。

ゴムチップ舗装とは、公園内の園路等に使用されている舗装で、通常のアスファルト舗装よりも適度なクッション性があり、足への負担が少ないので、快適に歩行することができます。



沖縄環状線(海邦公園付近)



石垣浅田線(バンナ公園付近)



高野西里線(JTAドーム宮古島付近)

3 どこで実施しているの?

沖縄県が管理している道路の内、運動公園のアクセス道路やウォーキング・ジョギング等の利用者数が多い路線で実施しています。

- ・沖縄本島北部管内：古宇利屋我地線(古宇利大橋付近)
- ・沖縄本島中部管内：沖縄環状線(海邦公園付近)
- ・沖縄本島南部管内：奥武山米須線(海軍壕公園付近)
- ・宮古管内：高野西里線(JTAドーム宮古島付近)
- ・八重山管内：石垣浅田線(バンナ公園付近)



問い合わせ 県道路管理課 電話:098-866-2665 FAX:098-866-2790

広告

県内初の児童心理治療施設が 今年4月に開設!



1 児童心理治療施設が開設

今年4月、県内初の児童心理治療施設となる「ノアーズ・ガーデン」開所式と併設される糸満市立三和中学校・米須小学校大度分校開校式が、約200名以上の多数の関係者が集う中、開催されました。

県からは謝花副知事が出席し、「この施設においてきめ細やかな支援を行うことは沖縄県の児童福祉を大きく前進させるものと期待している」と祝辞を述べました。

また、地元糸満市教育委員会をはじめとする関係機関の協力のもと、施設に併設される小・中学校分校が開校したことで、施設と学校が緊密な連携を図り、児童生徒の特性にあった教育を実施する環境が整いました。



施設外観

2 心理的ケアが必要な子どものための施設です。

児童心理治療施設は、家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由で社会生活を送ることが難しくなった子どもを入所または保護者の下から通わせて、心理的なケアおよび生活指導を行うことで状態の改善を図る施設です。

本施設では、以下のような状態となっている小学生から中学生の児童が対象となります。

- 虐待やいじめなどで心が傷つき、家族と暮らしていても改善が見込めない。
- 些細な刺激に反応し、すぐに興奮したり乱暴になったり、パニックになる。
- 情緒面が不安定で、交友関係がうまくいかず、学校に行けない。
- 発達障害を背景とした不適応症状がある。(ただし、発達障害そのものが対象ではない。)



来賓祝辞を読み上げる謝花副知事



施設内の様子と関係者の施設見学風景

3 相談先(中央及びコザ児童相談所)はこちらです。

ご利用にあたってはお近くの児童相談所が窓口となりますので、以下の連絡先までご相談ください。

- ・中央児童相談所：098-886-2900
- ・コザ児童相談所：098-937-0859

問い合わせ 青少年・子ども家庭課 電話:098-866-2174 FAX:098-868-2402